

松音風合

令和8年6月13日(土)

午前10時始

大濠公園能樂堂

入場無料

ご挨拶

新緑の候 皆様におかれましては益々御健勝の事とお慶び申し上げます
左記の通り松諷会を開催致します

記

番囃子	砧	細川郁子
素謡	卒都婆小町	山家茂子
素謡	隅田川	後藤和子
素謡	景清	井手勝美

他、素謡・舞囃子・仕舞等夫々披露致します
皆様お誘い合わせの上ご来場賜ります様ご案内申し上げます

令和八年 春

坂口信男
坂口貴信

番組

番外仕舞

弓八幡 坂口信男

素謡

竹生島

ツレ白河 季美伶

シテ 樽原俊成

ワキ 安藤洋志

地謡

井上裕之真
森本哲郎
坂口貴信
今村一夫

三井寺

子方坂口和貴

シテ 近藤寧子

ワキ 関根祥丸

地謡

坂口貴信
森本哲郎
坂口信男
今村一夫

俊寛

成経今村 嘉太郎

康頼井上 裕之真

シテ 吉田博年

ワキ 川口晃平

地謡

今村一夫
坂口貴信
坂口信男
森本哲郎

仕舞

清 経 立石美香

六 浦 近藤寧子

草子洗小町 坂口純子

地謡

今村一夫
坂口貴信
坂口信男
森本哲郎

狸 々 樽原俊成

舞囃子

(十一時二十分頃)

高

砂

眞鍋

香

飯原岡一之
田清一

竹田中
市学達

地謡

武田祥照
谷本健吾
今村一夫
坂口貴信
森本哲郎

杜

若

龍田啓子

飯亀井
田清一

竹田中
市学達

地謡

川口晃平
今村一夫
角坂口貴信
森本哲郎

野

守

八巻富美子

飯亀井
田清一

竹田中
市学達

地謡

武田祥照
今村嘉太郎
今村一夫
坂口貴信
森本哲郎

仕舞

(正午頃)

邯

鄆

後藤和子

土

車

吉田磨水

放

下

僧

小歌

白河季美伶

地謡

井内政徳
関根祥丸
坂口貴信
武田祥照

連吟

新作

漆供養

白石河季美伶
坂口佳子
石塚晶子
内田菜穂子
真鍋香
松本綾子
八卷富美子
立石美香

舞囃子

(十二時二十分頃)

實

盛

安永晴美

飯亀井 田清一 忠

竹市 学

地謡 井内政徳 坂口貴信
今村嘉太郎 浅見重好
角 幸二郎

芭

蕉

篠崎輝子

飯亀井 田清一 忠

竹市 学

地謡 武田祥照 坂口信男
関根祥丸 坂口貴信
谷本健吾

卒寿

百

萬

松野幸子

飯原岡 田清一 之

竹市 学

地謡 井内政徳 川口晃平
井上裕之真 坂口貴信
観世三郎太

天

鼓

盤涉

黒田知子

飯亀井 田清一 忠

竹市中 学 達

地謡 武田祥照 坂口貴信
関根祥丸 観世三郎太
角 幸二郎

素 謡

(十三時三十分頃)

卒都婆小町

シテ山家茂子

ワキ坂口貴信

地謡

今村 嘉太郎

観世 三郎太

浅見 重好

ワキツレ井上裕之真

角 幸二郎

番囃子

ツレ川口晃平

シテ細川郁子

ワキ坂口信男

飯亀井広忠
田清一 竹市

学

砧

地謡

武田 祥照

谷本 健吾

坂口 貴信

関根 祥丸

素 謡

子方坂口和貴

シテ後藤和子

ワキ小林美保子

地謡

坂口 貴信

観世 三郎太

浅見 重好

角 幸二郎

隅田川

番外仕舞

(十五時頃)

経

正

坂口和貴(六歳)

地謡

井上 裕之真

坂口 貴信

坂口 信男

関根 祥丸

舞囃子

卷

絹

松本綾子

飯原岡一之

竹市達学

地謡
武田祥照
井上裕之真

今村嘉太郎
坂口信信
川口晃平

野

宮

溝口泰子

飯亀井広忠

竹市学

がつしよう留

地謡
井内政徳
坂口信信

坂口信男
浅見重好
角幸二郎

玄

象

石塚晶子

飯原岡一之

竹市達学

地謡
井内政徳
武田祥照

今村嘉太郎
観世三郎太
坂口信信

素謡

(十五時五十五分頃)

ツレ武田祥照
トモ関根祥丸

景

清

シテ井手勝美ワキ谷本健吾

地謡

今村嘉太郎
坂口信男
浅見重好
坂口信信

舞囃子

(十六時二十五分頃)

東岸居士

内田 菜穂子

飯田 亀井 清一 忠

竹市 学

地謡 井上 裕之真 川口 晃平
関根 祥丸 坂口 貴信
谷本 健吾

小 塩

寿田 英洋

飯原 岡一之 田中 達
田清一 竹市 学

地謡 井内 政徳 関根 祥丸
武田 祥照 坂口 貴信
川口 晃平

融

五段

安藤 洋志

飯原 岡一之 田中 達
田清一 竹市 学

地謡 井内 政徳 坂口 貴信
武田 祥照 観世 三郎太
谷本 健吾

素謡

(十七時頃)

鶉

飼

シテ吉 留康 貴 井内 政徳
ワキ岩 田英 洋 谷本 健吾
ワキツレ肥 後勝 彦 坂口 信男
今村 嘉太郎

地謡 今村 嘉太郎

番外仕舞

国

栖

坂口 貴信

附 祝 言

(終了予定十七時四十五分頃)

番囃子

砧

ツレ着詞ヨリ始メ。地へ三年の秋。物著無シ。地トリ無シ。
地へ古里の：ヨリヌキへ文月七日：へトブ
地へ声も枯野ヨリヌキ待謡へトブ

素謡

竹生島

ワキへ急ぎ候程に：ヨリ始メ。地へ所は海の上。クセ。
地へ返すくも面白や：ヨリ後シテへ元より衆生：へ。

三井寺

ワキ次第ヨリ始メ。次第切り。後シテへ。
地へ乱れ心や狂ふらん：ヨリシテへ面白の鐘の音：へトブ
クリ、サシ、クセ。

俊寛

次第ヨリ始メ。次第切り。シテ出へ。地へ飲むからに。
クドキヨリシテへせめて思いの：へトブ

卒都婆小町
隅田川

シテノ出ヨリ始メ。シテへさむろうなり：ヨリへロンギへトブ
ワキへさように候はば：ヨリ始メ。地へもとよりも。

景清

ワキへかかる優しき：ヨリヌキ。ワキへいかにこれなる狂女へトブ。
ワキへ言語道断：ヨリヌキ。ワキへ今は何と：へトブ。
トモへ漸うくヨリ始メ。初同ヌキ。地へ：親の絆なれ：
ヨリワキへのうくへトブ。地へ一門の。

鶺鴒飼

ワキ名宣切りシテノ出へトブ。一セイ切り。

舞囃子

高砂

へ春なれや
へ暗きに

杜若

後シテ

野守

へ洗わせて

實盛

クセヨリ序ノ舞ヌキ

芭蕉

クセのみ

天鼓

盤渉

へ天降ります

卷

絹

へそもく当山

野宮

合掌留

へ如何なる車、序ノ舞ヌキ

玄象

へ師子丸

東岸居士

へ面白や松吹く風

小塩

クセ、キリのみ

融

五段

へ千重ふるや

予告

国立定例公演

令和八年五月十三日(水)

能 千手

於 国立能楽堂

郢曲之舞

坂口貴信

観世会定期能

令和八年七月五日(日)

能 逆矛

於 観世能楽堂

替装束

坂口貴信

第十三回

坂口貴信之會

令和八年九月十九日(土)

於 観世能楽堂

能 花筐

坂口貴信

筐之伝
大返

能 野守

坂口貴信

白頭